

# 自然派宣言

CHALLENGE

発行  
2017年3月21日  
徳島県議会議員  
庄野 昌彦

## 庄野まさひこ 県政レポート No.31

### ヒナの誕生を心待ちに・・・

昨年、鳴門市大麻町で営巣活動を行っていた、国の特別天然記念物であるコウノトリ。今年も、昨年と同じ場所で、巣作りを行っています。今年こそは、抱卵、ヒナの誕生を期待しています。ヒナが誕生すれば、兵庫県豊岡市以外では日本初の出来事となります。官民挙げての日頃からの、餌場の確保や、見守りがあってのことだと思います。関係各位に敬意を表すると共に、うれしいニュースを心待ちにしています。

鳴門市 平野氏撮影



### 共生・共助の社会をめざして

徳島県議会議員 庄野 昌彦

皆様方におかれましては、お変わりございませんでしょうか。公私ともにご指導をいただいておりますことに対し、心から深く感謝申し上げます。

さて、徳島県の課題は多くありますが、3点申し上げたいと思います。

- 1点目は、人口減少対策です。安定した生活を営むためには、仕事の確保を行い、雇用を創出していくことが大切です。農業、林業、水産業に若者が従事できる環境を作ること、中小零細企業への支援と新しい産業「阿波藍、LED」などの育成が肝要であると考えます。
- 2点目は、持続可能な介護保険制度をはじめとする社会保障制度の構築です。
- 3点目は、命と暮らしを守るため、南海トラフや直下型活断層の大地震、津波に対し、どのように対処していくのかという更なる防災・減災対策を進めることです。

これらの課題解決に向け、徳島県及び市町村の皆様方と力を合わせて取り組みを進めていきたいと思っております。

また、平和と人権を守る運動に、これからも積極的に参加していきたいと思っております。憲法9条に違反しているとして、憲法学者、多くの国民の反対や不安の声が渦巻いていたにもかかわらず、安倍政権は「集団的自衛権行使」を可能にする、「安全保障関連法」を強行的に成立させました。許されない暴挙だと考えております。また、労働者保護ルールの改悪（労働者派遣法改悪）などは、労働者の権利を侵害するものであり、時代に逆行しています。とても容認することはできません。

私は、今後とも粘り強く、平和と民主主義、国民生活の安定と笑顔のために、多くの方々と共に活動を続けていきたいと思っております。

これからも、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

(自宅)〒770-8024 徳島市西須賀町東開60-19  
TEL088-669-5403 FAX088-669-5408  
ホームページ <http://www.shonomi-ek.jp>  
メールアドレス [info@shonomi-ek.jp](mailto:info@shonomi-ek.jp)

真の「地方分権・地方自治」を確立しよう。

# 県議会の状況

## 会派「新風・民進クラブ(4名)」

現在、副会長です。  
「所属委員会」  
経済委員会委員  
次世代人材育成・少子高齢化  
対策特別委員会副委員長



以下、2016年、各委員会で質問した  
項目を記載させていただきます。

## 経済委員会

- ・(商工労働観光部関係)
- ・県南部における観光振興について
- ・アニメの聖地88か所の応募について
- ・とくしま障がい者雇用行動計画について
- ・特別支援学校生徒の就労支援について
- ・(農林水産部関係)
- ・熊本地震での畜産への影響について
- ・県南部における新種のワカメ育成について
- ・イチゴの新品種の開発状況について
- ・コウノトリの餌場の確保対策について
- ・鳥獣害対策について

## 次世代人材育成特別委員会

- ・介護保険制度について
- ・若年性認知症について
- ・医師確保対策について
- ・県立病院の充実強化について

これからも、頑張ります。  
皆さまのご意見  
お聞かせください。

## 2 木育について

**質問「庄野」** 木育の活動は、木を真ん中に置いた子育て、子育て環境を整備し、子供を初めとする全ての人たちが木のぬくもりを感じながら楽しく豊かに暮らしを送ることができるようになることとあります。木のおもちゃは、子供の五感に働きかけ、感性豊かな心の発達を促すだけではなく、親にとっても癒やし効果があります。子供が育つ環境に木を取り入れていくことで、木よき、魅力を知ってもらい、大きなきっかけにもなります。私は、木育は木が好きなる人を育てる活動と考えています。

本県においても、木育の重要性をより強く認識し、本県の木材を原料に使ったおもちゃの開発とか木育イベントなど、木育活動をさらに推進していかないと考えますが、御所見をお伺いします。

**答弁「知事」** 県では、豊かな森林を守り、その恵みを生かし伝えていくため、徳島県産材利用促進条例を全国に先駆けて制定し、県産材のすぐれた性質やその利用によって地域経済の活性化のみならず地球温暖化防止にも役立つことを学ぶ木育を子供から大人まで幅広く推進しているところとあります。

今年度は、木育広場をさらに増設いたしますとともに、森林、木材の知識や森林レクリエーション、木工工作などの技術、技能を身につけた木育リーダーを新たに養成し、木育を効果的に普及していくことといたしております。

さらに、本年3月、設立いたしました、木材建築団体を初め子育て支援団体、また大学など県民総ぐるみで県産材利用を進めるとくしま木づかい県民会議が、今月の22日、23日に、あすたむらんどで開催予定のとくしま木づかいフェアにおいて、木のおもちゃ遊び、木工工作、森林観察などを実施いたしました。豊かな森林や木材の恵みながら暮らしを家族みんなで再発見していただくことを計画しているところとあります。

また、とくしま木づかい県民会議では、県産材の新たな用途開発に向け、親子で遊びながら県産材の魅力を感じることでできる木のボールプールを初めとしたおもちゃや木育教材など、新商品づくりにも積極的に取り組んでまいります。

今後とも、全ての県民の皆様方が木と触れ合い、木に学び、木でつながるよう、木育をより一層推進いたし、県産材利用の機運を盛り上げますとともに、徳島の木材あるいは林業、木材産業の将来を支える人づくりをしっかりと推進いたしてまいります。

## 3 犬猫の殺処分ゼロに向けて

**質問「庄野」** 本県でもこれまで、動物愛護管理センターを中心に、徳島県獣医師会やボランティアの方々との協力によってさまざまな取り組みが行われた結果、二万頭を超えていた殺処分数が、昨年度には1500頭を下回るまでに削減されており、これまでの取り組みに対し敬意を表したいと思います。

しかしながら一方で、まだまだ救える命があるのも事実であります。折しも、近ごろは史上空前の猫ブームと言われ、メディアでも大きく取り上げられておりますが、こうしたブームも利用して、動物愛護管理センターが収容する犬猫の譲渡をこれまで以上に進めていくことが殺処分ゼロへの近道になるのではないかと考えます。犬猫の殺処分ゼロに向けてどのように取り組んでいくのか、御所見をお伺いします。

**答弁「危機管理部長」** 本県では、獣医師会や市町村と連携した不妊去勢手術の実施のほかペット動物へのマイクロチップの装着、災害救助犬やセラピードッグの育成など、迷子になった動物を飼い主のもとへ戻す返還や新しい飼い主を見つける譲渡の取り組みを積極的に展開することで、殺処分数を削減してきたところでございます。特に、本県の犬や猫の譲渡数は、平成27年度には607頭を数え、動物愛護管理センターが開所した平成15年度の110頭に比べまして5倍を超える増加となっているところでございます。

現在、県では、この機を捉え、さらなる譲渡を推進する上で欠かせない存在であるボランティアの皆様が積極的に活動できるスペースを確保した譲渡交流拠点施設の整備に着手しております。平成30年度の供用を予定しているところでございます。今後は、この施設の1日も早い供用を目指すとともに、県、市町村、関係団体等から成るプロジェクトチームを立ち上げ、施設の効果的な運用や実効性のある対策を展開することで、譲渡することが可能な助けられる犬や猫の殺処分ゼロを早期に実現できるよう、全力で取り組んでまいります。

## 4 その他

この他にも、消費者庁の移転、麻しん(はしか)対策、水素エネルギーの利活用、乳がん対策、野生鳥獣の対策について、働き方改革等について質問しました。(メール等で、皆様方のご意見をお聞かせいただければありがたいです。)

## 庄野まさひこの

# 行・動・日・誌

2016年	
3月15日	2月定例県議会閉会
18日	大松幼稚園修了式
22日	水素ステーション開所式(徳島県庁)
29日・31日	会派研修(岩手県漁連・遠野市役所他)
4月11日	大松小入会式
12日	大松幼稚園入園式
13日	支援米発送式(徳島駅前)
16日	竹林を見る会(阿南市福井町)
24日	とくしまマラソン
28日	経済委員会視察(津田まちキッチン他)
30日	阿波木偶箱回し保存会20周年パーティー
5月1日	ミーデー
12日、13日	会派研修(東京都)
19日	経済委員会視察(県南部)
23日	徳島市職設者連極式
26日	徳島県獣医師会通常総会
6月4日	アジア・アフリカ支援米田植え主催(食とみどり、水を守る徳島県民会議)
5日	フレック51回大会
6日	経済委員会(事前)
7日	次世代人材育成・少子高齢化対策特別委員会(事前)
9日	6月定例県議会開会
14日	県議会代表質問
15日	一般質問
17日、20日	経済委員会
24日	次世代人材育成・少子高齢化対策特別委員会
28日	連合徳島地方委員会
30日	6月定例県議会閉会
7月6日	県議労中央委員会
10日	参議院選挙投票日
27日	経済委員会視察(北海道水産試験場他)
8月12日、14日	阿波踊り(麻布大学同窓会連)
27日、28日	江南ライオンズクラブ親善行事(徳島市)
9月1日、2日	次世代人材育成・少子高齢化対策特別委員会視察(東京都)
19日	敬老会(大松小学校)
21日	経済委員会(事前)
22日	少年剣道大会(徳島眉山ライオンズクラブ主催)
23日	次世代人材育成・少子高齢化対策特別委員会(事前)
27日	9月定例県議会開会
10月4日	代表質問(庄野登壇)
5日、6日	一般質問
7日	県議連合同大会
9日	勝占神社お祭り
11日、12日	経済委員会
16日	大松小運動会
17日	次世代人材育成・少子高齢化対策特別委員会
18日	勝占地区職設者懇話会
20日	3R推進全国大会(徳島文理大学)
21日	反戦島合闘運動会
23日	連合徳島合同運動会
24日	9月定例県議会閉会
25日・28日	普通会計決算認定特別委員会
11月3日・5日	沖繩平和研修
6日	藤岡野定(徳島公園)
9日・11日	第2回世界獣医師会・世界医師会国際会議(北九州市小倉)
16日・18日	会派研修(東京都)
21日	経済委員会(事前)
22日	次世代人材育成・少子高齢化対策特別委員会(事前)
29日	11月定例県議会開会
12月1日	代表質問
2日	一般質問
6日、7日	経済委員会
12日	次世代人材育成・少子高齢化対策特別委員会
16日	11月定例県議会閉会
21日	経済委員会視察(県西部)

2017年	
1月6日	自治労徳島県本部旗びらき
8日	成人式(多良山コミセン)
10日	連合徳島旗びらき
11日	県議連合同旗びらき
12日	会派研修(高知県梛原町)
14日	関連研修(つき眉山園)
15日・17日	会派研修(長野県、福井県)
23日	水産振興議員連盟視察(椿泊漁協)
27日	部落解放同盟旗開き
2月9日	経済委員会(事前)
11日	日の丸、君が代、天皇制を考えるシンポジウム
13日	次世代人材育成・少子高齢化対策特別委員会(事前)
15日	2月定例県議会開会
16日	第37回部落解放人権徳島研究集会
21日	代表質問
22日、23日	一般質問
24日	県議労中央委員会
27日	28日 経済委員会
3月3日	次世代人材育成・少子高齢化対策特別委員会
13日	2月定例県議会閉会
16日	大松小学校卒業式

食は命の源「地産地消」の拡大を!

「共に生きる・ノーマライゼーション」を推進しよう。

# 2016年度活動トピックス



**2016年 4月16日**  
食とみどり、水を守る徳島県民会議主催の「竹林を見る会」(阿南市福井町) **1**



**2016年 4月30日**  
阿波木偶箱まわし保存会20周年を祝う会に出席。(徳島市・阿波観光ホテル) **2**



**2016年 6月4日**  
アジア・アフリカ救援米田植え(徳島市応神町) **3**



**2016年 10月15日**  
世界食糧デーで、JR徳島駅前で、食品ロス対策等について、訴えました。 **4**



**2016年 11月4日**  
反差別研修に参加(沖縄県那覇市) **5**



**2016年 11月10日**  
獣医師会・医師会世界大会に参加。講演は、ノーベル化学賞を受賞された、島津製作所記念質量分析研究所長の田中耕一氏。(北九州市小倉) **6**



**2016年 11月16日**  
会派研修。東京おもちゃ美術館にて、「木育」の重要性を学ぶ。(東京都新宿区) **7**



**2016年 11月18日**  
会派研修で、若年認知症サポートセンター(東京都練馬区)を訪問。 **8**



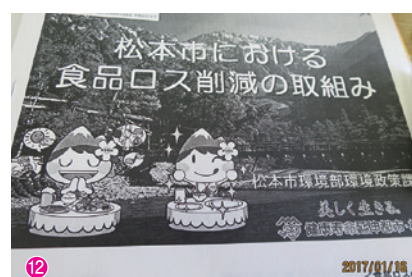
**2016年 12月3日**  
フードバンク徳島の農園にて、芋の収穫を手伝う。(徳島市不動東町) **9**



**2017年 1月12日**  
会派研修で、高知県梶原町を訪問し、ジビエカーについて調査。 **10**



**2017年 1月12日**  
シカの移動解体車「ジビエカー」を視察。(高知県梶原町) **11**



**2017年 1月16日**  
会派研修で食品ロス対策について調査。(長野県松本市役所) **12**